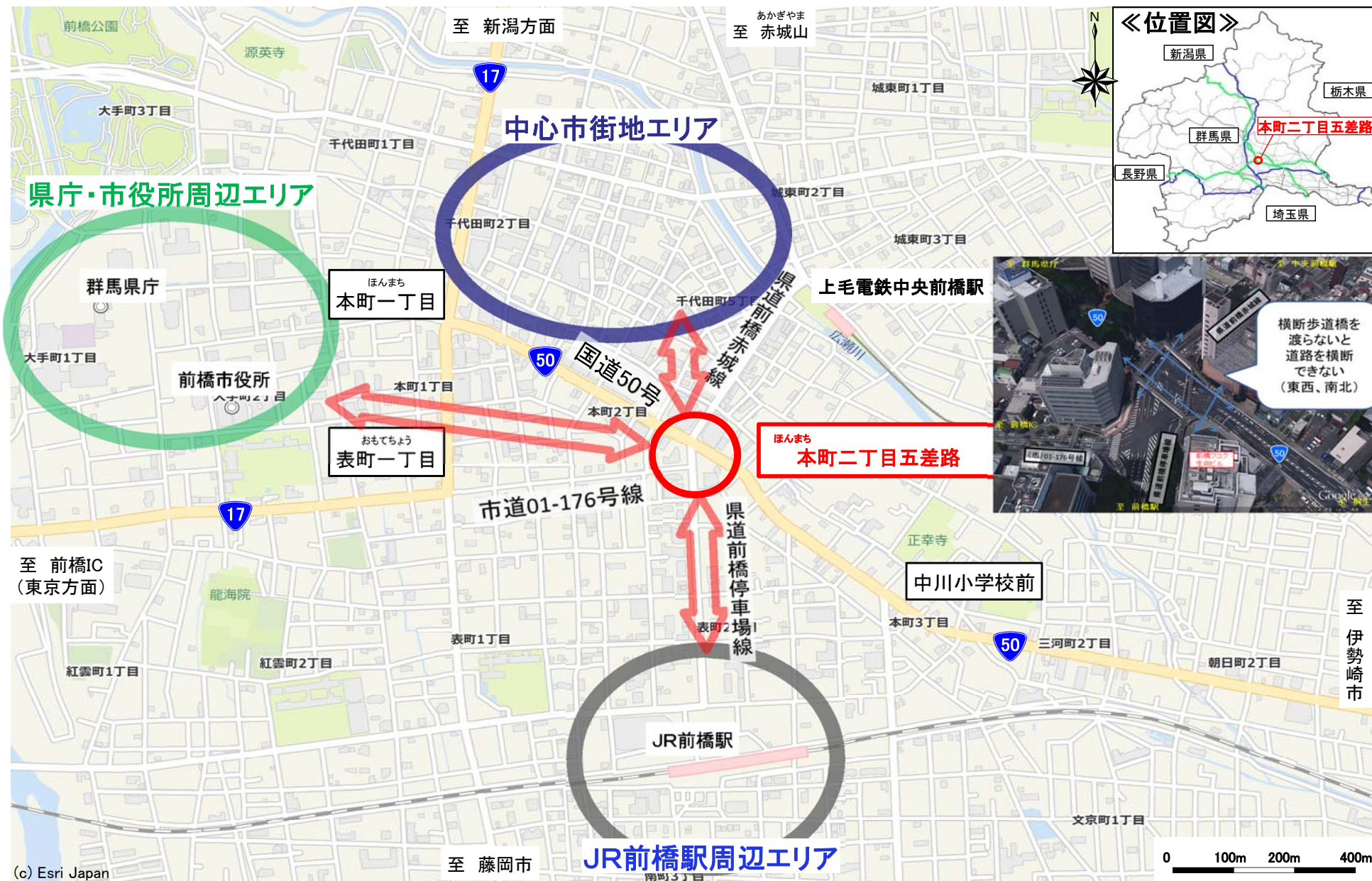


前橋本町二丁目五差路交差点の現状について

1. 前橋本町二丁目五差路交差点の周辺状況について

- 県庁・市役所周辺エリアと中心市街地エリア、JR前橋駅周辺エリア交差点を結ぶ中心に、前橋本町二丁目五差路は位置しており、車・人の流れの要所となっている。
- 歩行者が前橋本町二丁目五差路交差点を横断するためには、横断歩道橋を利用する必要がある。



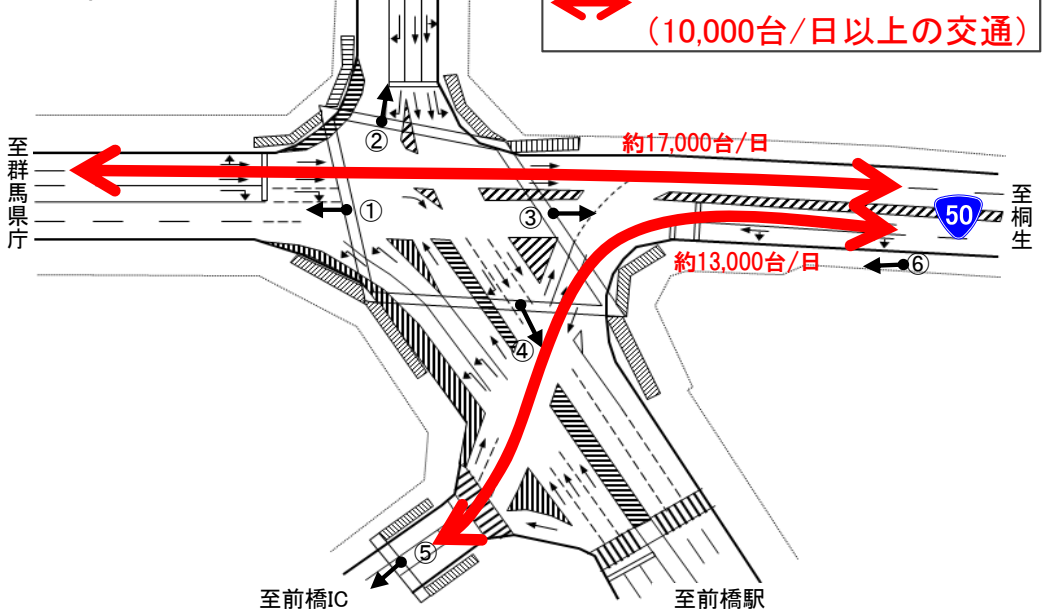
2. 前橋本町二丁目五差路交差点の交通状況

● 前橋本町二丁目五差路交差点の主な流動方向は、国道50号→50号、国道50号→市道が主となっている。

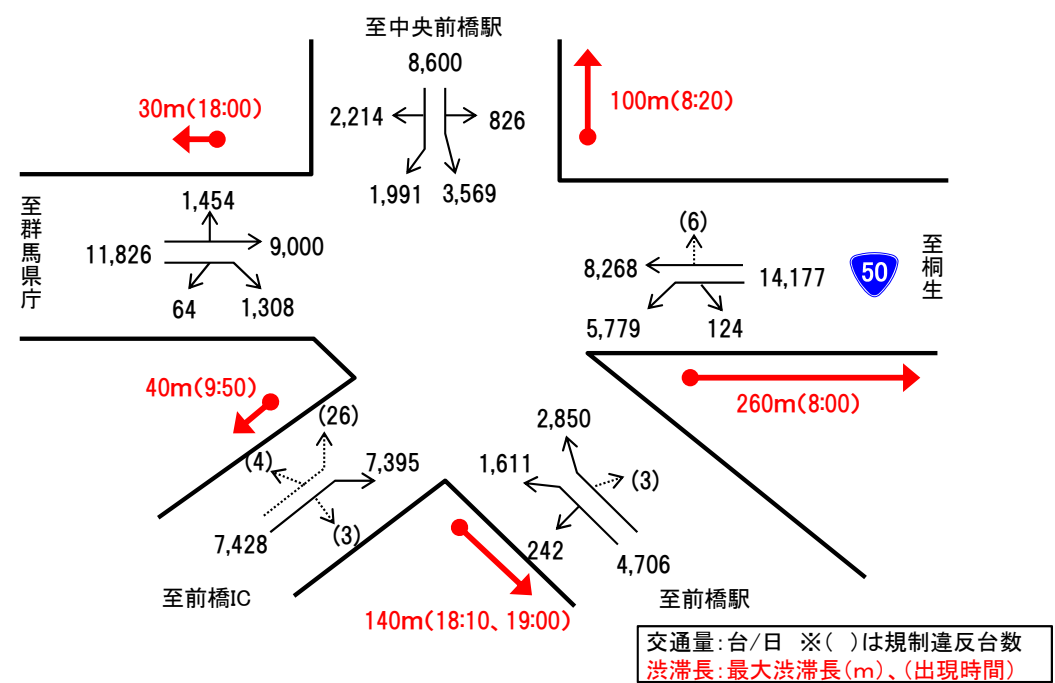
■位置図



■車線運用



■交通量・渋滞長 (H28.6.14調査結果)



交通量:台/日 ※()は規制違反台数
渋滞長:最大渋滞長(m)、(出現時間)

■現地状況 (撮影日:平成29年4月5日(水)14時頃)



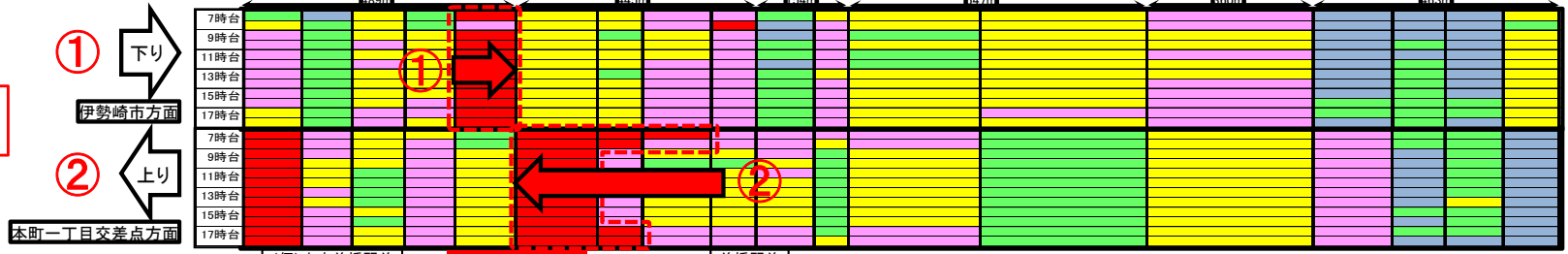
2. 前橋本町二丁目五差路交差点の交通状況(周辺の旅行速度状況)

- 前橋本町二丁目五差路交差点に向かう交通が特に速度低下している(10km/h以下)。

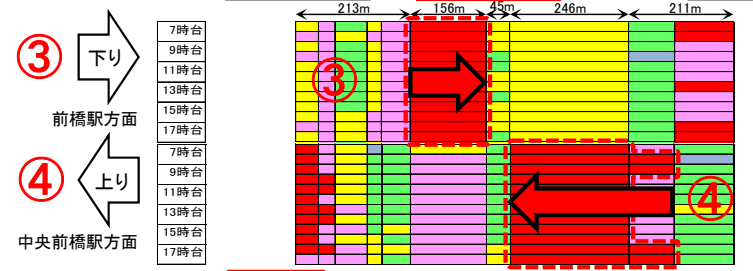


凡例
 ● 一般国道上の主要渋滞箇所
 ● その他の主要渋滞箇所

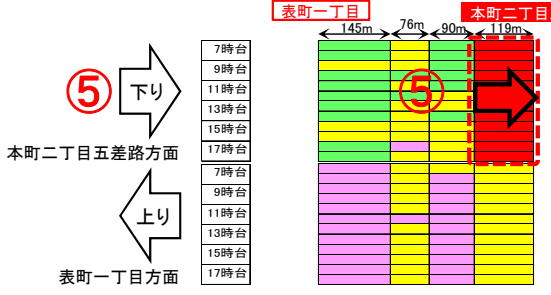
国道50号



前橋赤城線・前橋停車場線

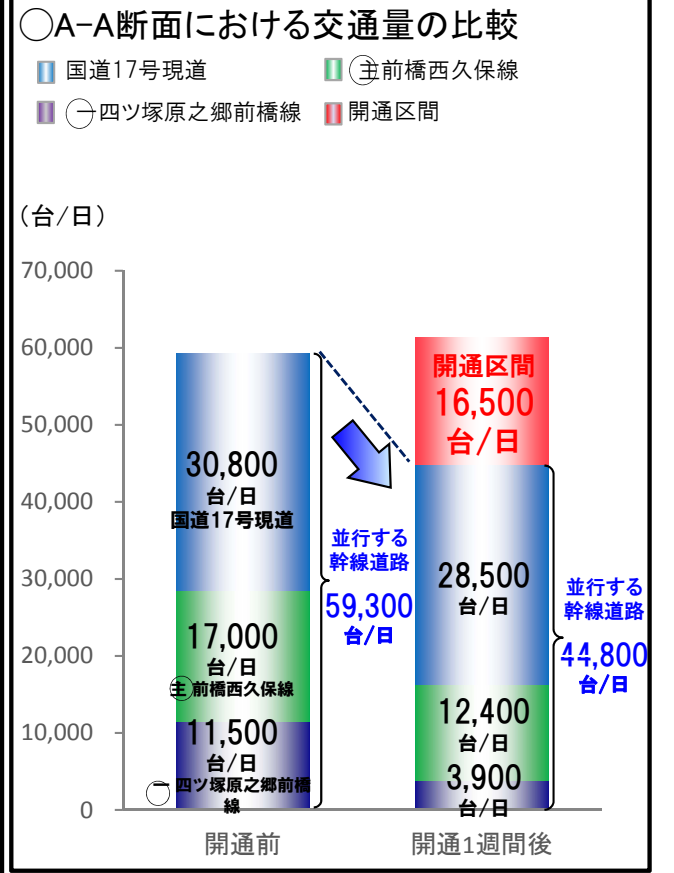
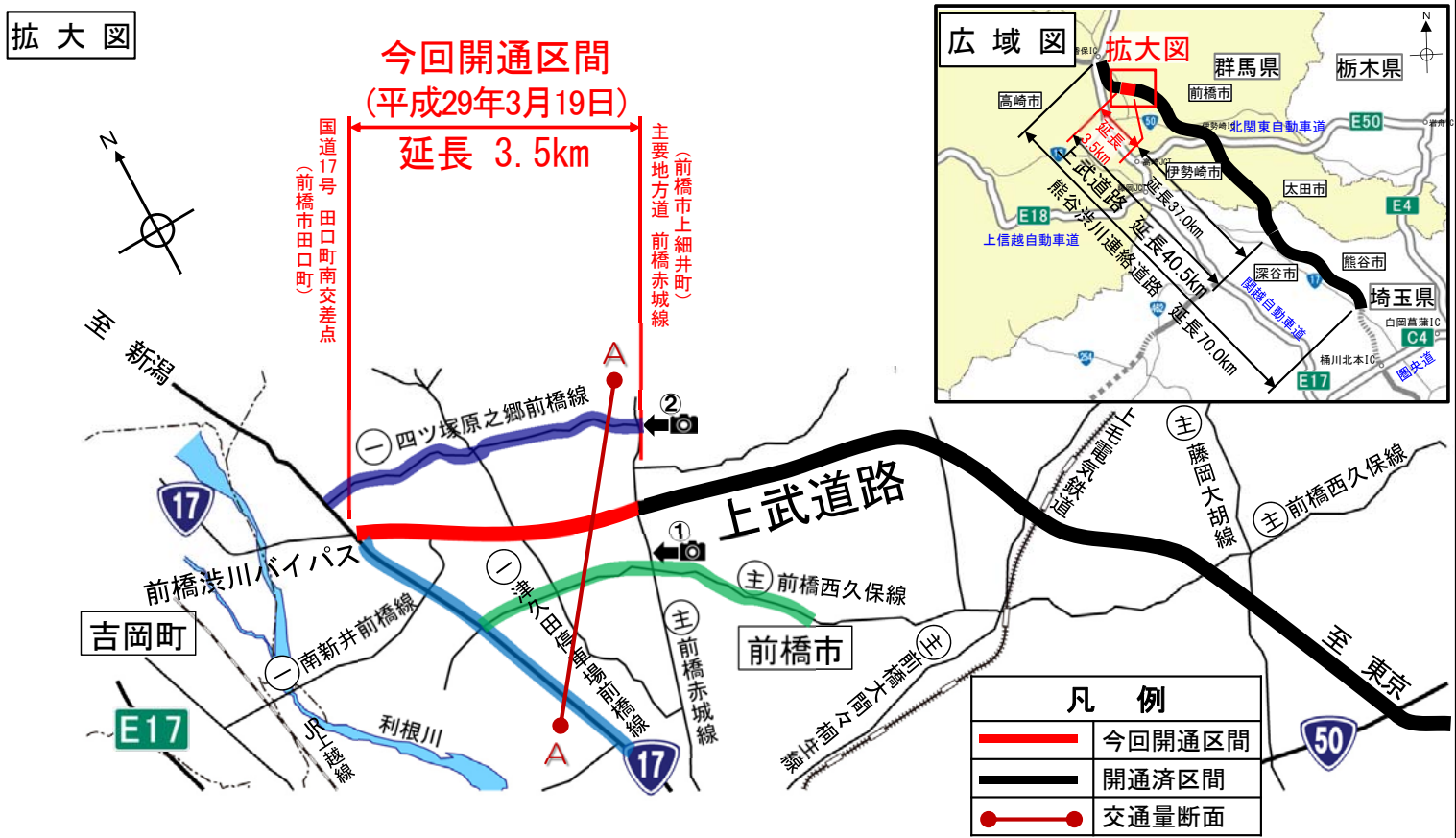


前橋市道(前橋IC方面)



3. 国道17号「上武道路」開通による交通変化

- 国道17号「上武道路」は、平成29年3月19日(日)に、(主)前橋赤城線～国道17号田口町南交差点間(3.5km)が暫定2車線で開通し、全線が開通。
- 上武道路(今回開通区間)の交通量は約16,500台/日。
- 開通区間に並行する幹線道路3路線の交通量の合計は、約59,300台/日(開通前)から約44,800台/日(開通1週間後)に約2割減少。



○開通区間に並行する幹線道路の様子



(出典：高崎河川国道事務所交通量調査より)
 【調査日】 開通前：平成28年2月19日(木)
 開通1週間後：平成29年3月28日(火)

4. 前橋本町二丁目五差路交差点の課題

○(仮称)前橋本町二丁目五差路交差点は前橋市中心部に位置し、交通が集中する要所である。まちづくり、公共交通網の面からも重要な交差点であり、以下の課題がある。

【課題①】**変形五差路交差点**で信号現示が複雑であり、各方向とも交通量に対して交通容量が不足している。

【課題②】**国道50号(桐生方面)**と**市道01-176号線(前橋IC方面)**を結ぶ動線は**交差点内で屈曲**しているため、安全面及び円滑面で課題がある。

【課題③】交差点を横断するためには横断歩道橋を利用する必要がある。

■(仮称)前橋本町二丁目五差路交差点の課題

【課題①】

- ・変形五差路交差点である。
- ・各方向とも交通量が多い。
- ⇒容量が不足し、交通渋滞が発生している。

【課題③】

交差点を横断するためには横断歩道橋を利用する必要がある
⇒歩行者の利便性が損なわれ、まちの分断(魅力低下)の一因となっている。



写真:前橋本町二丁目付近の現況



写真:前橋本町二丁目五差路の歩道橋

【課題②】

国道50号(桐生方面)と市道01-176号線(前橋IC方面)の動線は交差点内で屈曲している。
⇒安全性や円滑性が損なわれている。

